



未知のウイルスがやってきて、今年はなんだかいつもと違う春になりました。手を洗いましょう、うがいをしましょう、家にいましょう、マスクをしましょう。息苦しさを感じつつも、家時間を工夫したり、ちいさな散歩で足下の草花に元気をもらったり。そんな工夫を重ねながら、会員の皆さまも過ごされているのではないのでしょうか。

今月から産休に入られるデイケアスタッフ大岡さんには、お会いするたびお腹がふっくらと大きくなる姿に、何度も元気をいただきました。コロナ禍の厳しい現状の中で、当事者や支援者に寄り添い、力になってくださる先生方や看護師の方には感謝の言葉しかありません。

まだコロナ騒動が大事になる前に、世話人Sが烏山病院近くの寺町を取材しました。出歩くことが難しい今、頭の中でエア散歩するもよし、この騒動が落ち着く頃のお楽しみにするもよし。会報片手に散歩をする日が待ち遠しいです。

産休のご挨拶と寺町散歩、今月号はこの二本をお届けします。



■ デイケアスタッフ 産休のご挨拶 ■

大岡 由理子

春光うらかな季節となりましたが、ご家族の皆様にはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。この度、私事ではありますが、5月より産休に入らせて頂く事になりました。正直、新しい生命の誕生を喜びつつ皆様とお会いできなくなる日々のことを考えると本当に寂しい気持ちになり葛藤の連続でした。涙を流さずにはられません。

デイケアで過ごした7年間は本当に貴重な経験をさせて頂きました。支援する中で、焦る必要はなく、長い目で見守ることの大切さ、利用者の方々は必ず成長するという事。その変化と一緒に肌で感じる事ができ、私自身本当に幸せでした。



看護師として1番大切なことを教えて頂いたデイケアには感謝の気持ちしかありません。実習にきた看護学生に毎回カンファレンス時その大切さを伝えられたことも誇りに思っています。

まだまだ語りたことは山のようにありますが、春の終わりが近づいてきました。最後に一言だけ言わせてください。烏山デイケアが大好きです。こんな自分を見守ってくれた利用者の皆様、ご家族様、そしてデイケアのスタッフには本当に感謝致します。ありがとうございました。





■ 千歳烏山 寺町散歩 ■



ご家族の付き添いで烏山病院に出かけ、まだ遅い時間でなかったら、少し歩いて寺町散歩はいかがですか。

病院からもう少し北上して、10分程度歩いたところに「寺町通り」があり、その近辺に26もの寺院があります。関東大震災（大正12年）を契機として、東京各地から移転されたのが起源で、かなり狭い範囲に密集しているのが特徴です。緑が多く、庭の花など、手入れの行き届いたきれいなお寺ばかりで、気分転換、お散歩におすすめです。その中から、いくつかのお寺を紹介しようと思います。

烏山病院から、千歳烏山駅を背にして、しばらく北へ歩いていくと、中央高速の高架が見えてきます。高架をくぐって信号を渡ると「みどり会館」の案内板があります。看板に従い、右折してしばらく行くと「みどり会館」（は、葬祭場です）の先に「寺町通り区民集会所」があります（ここで寺町の地図を無料配布していると世田谷区のHPには記載されていますが、実際には烏山支所で配布されているようです）。集会所には、ベンチやトイレがあり、また、寺町の地域案内図・お寺の紹介・歴史・自然など様々な展示があります。展示は少し古びていますが、休憩がてら一息入れるのにいいかもしれません。

集会所の先の交差点を左折するとそこはもう、寺町。寺町通りを挟んでたくさんの寺院が並んでいます。筆者は行きに東側、帰りに西側のお寺を見て参りました。その中から印象に残ったお寺をいくつかご紹介します。



まずは、「多門院」。ちょうど桜の咲き始めた季節だったので、見事な桜が出迎えてくれました。第2次世界大戦後、26寺院の中で最後に移転されたお寺です。境内右手に立派な石造涅槃図や仏足石があります。

次に印象に残ったのが、「存明寺」です。グリーンケア・法話を聞く会・子ども食堂などに取り組んでおられるお寺のようですが、筆者が引き寄せられたのは、駐車場わきの形の良い銀杏の木です。お天気の良い日だったので、青空にすっきりと立つその姿が美しく、まだ葉が出る前の時期の枝ぶりが潔さを感じ、しばし見とれてしまいました。次に紹介する妙祐寺の特徴のある屋根が枝越しに見えるのも良い景色でした。さらに、よく見ると銀杏の枝には手製のブランコが…子どもたちが集まってくる、地域に開かれたお寺なのだな、と感じました。秋の紅葉時期もまた、趣を増すお寺のようです。



お隣は、築地本願寺の流れを汲み、古代インド様式の本堂をもつ「妙祐寺」です。周囲のお寺とはちょっと違った明るい雰囲気を感じていました。本堂の扉には「蟹梅の紋」という珍しい家紋が施されています。



いろいろなお寺を見比べながら歩いていると、あっという間に寺町の北の外れ、「高源院」についてしまいます。烏山寺町の中で最も有名なのは、「烏山の鴨池」と呼ばれる弁天池があるからでしょう。池の中ほどには弁財天を祀った「浮御堂」が立てられ、赤い欄干が渡されています。橋の上やお堂から池の睡蓮の花・悠々と泳ぐ鴨・甲羅干しをする亀などが見られます。水に映るお堂はまさに「インスタ映え」する眺めです。



来た道に戻りながら西側のお寺を見ていくと、「妙壽寺」が現れます。こちらは山門から続く参道の木立の雰囲気素晴らしいです。写真では上手く撮れなかったのが残念です。門をくぐると、広い庭園に導かれ、ここが東京都内だということを忘れさせてくれそうです。



筆者が最も気に入ったのが「宗福寺」です。大きくもない、ごく普通のお寺なのですが、しっとりとした、廊下のある木造建築が美しく、心が落ち着きました。つつじが咲く季節も良いようです。

立派な山門の「幸龍寺」は、とても大きなお寺です。こちらには奈良から運んできた「さざれ石」が枝垂桜の下に鎮座していました。でも、少々足がくたびれた筆者が心惹かれたのは、アヒルとワニを模したベンチ！ユーモラスなその顔に疲れも吹き飛びました。このように、ちょっと腰掛けるところがあったり、少し大きなお寺にはトイレがあったり、不安なく巡れるところも良い点だと思いました。



帰りは寺町通りにいくつもあるバス停からバスに乗って千歳烏山駅に向かっても良いし、寺町通りをまっすぐ歩いて駅まで戻りつつ、商店街の喫茶店で休憩しても良いかなと思いました。

筆者が行ったのはちょうどお彼岸で、かなり賑わいを見せていましたが、いつもは割とひっそりしているのんびりそぞろ歩きに適しているようです。四季折々、季節が違ふとまた違ふ風情をみせてくれることと思います。

今回ご紹介したお寺の他にも、庭園の植物がとてもきれいなお寺・狸の置物がたくさんあるお寺など、さまざまな特徴のあるお寺があるようです。帰宅してからもう一度寺町のことを調べて、「見逃した！もう1回行ってみたい」と思っていた矢先の非常事態宣言でした。今頃、世の中の騒動とは無縁の静けさで、各寺院はまた人々が訪れるのをひっそりと待っていることでしょう。季節が移り、世の中が落ち着いたなら、お気に入りのお寺を見つけに、一度寄り道してみてもいいかなと思います。(Y.S)



■ 「烏山東風の会」にご意見をお寄せください ■

「烏山東風の会」では、世話人会、相談会等の集合での会合は現在休止しています。ご意見、ご提案等があれば下記、携帯電話にご連絡下さい。

- 携帯電話：080-3009-1200
- メールアドレス：kochinokai@au.com

尚、「烏山東風の会」ホームページの「お問い合わせ」欄もご利用下さい。

- 東風の会ホームページアドレス：<https://www.kochinokai.com/>



■ 会費振込のお願い ■



この会報誌は「烏山東風の会」に入会している方にお配りしています。4月より新しい年度になりますので、新年度の会費につきまして1年分6000円、または半年分3000円を、以下のいずれかの銀行口座にお振り込みいただくようお願い申し上げます。

- ① 三菱東京UFJ銀行 永福町支店 (普) 0106550
「烏山東風の会 会計 黒田邦夫」
- ② ゆうちょ銀行 記号・番号：10000-29576521 「烏山東風の会」
お問い合わせ：黒田邦夫 090-4173-7604

デイケア写真館

奉仕活動は毎週金曜日の午後に行われているプログラムです。

活動内容は主に烏山病院周辺のゴミ拾いをスタッフ2名の引率のもと行っており、天気が悪ければ院内にある畳の清掃などを中心に活動しています。天気が良い日に外へ出て皆で協力して病院の周りをキレイにするのは心身共にとてもスッキリします。

今はコロナウイルスの影響で出せませんが、いつもは活動が終わった後にお茶とお菓子が出るのでそれを食べながらみんなでのんびりお話ししたりしていて、それを楽しみに活動に参加される方もいらっしゃいます。

ぜひ皆さんも奉仕活動に参加して、一緒にたくさんキレイにしていきましょう。(H.H)

